

さよなら ランラン

ほほ笑みを七年、ありがとう

全国の声援も届かず

赤ちゃん待っていたのに……



「ランラン」は、1972年12月、日本動物園から、中国動物園へ送られた。その時、ランランは、まだ赤ちゃんだった。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。

ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。

ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。

ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。

ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。ランランは、中国動物園で、7年間、生活した。

圓生師匠、高座に死す

招かれた習志野で 79歳の誕生日に

圓生(のり)は、1900年(明治33年)に、京都府の京都市で生まれた。圓生は、1979年(昭和54年)の9月4日、習志野で、79歳の誕生日に、高座に死す。圓生は、1979年(昭和54年)の9月4日、習志野で、79歳の誕生日に、高座に死す。



圓生(のり)は、1900年(明治33年)に、京都府の京都市で生まれた。圓生は、1979年(昭和54年)の9月4日、習志野で、79歳の誕生日に、高座に死す。圓生は、1979年(昭和54年)の9月4日、習志野で、79歳の誕生日に、高座に死す。

人情噺を磨き抜く

門下生 弟子養成では反骨も

人情噺(にんげんばなし)は、日本の伝統的な文芸形式の一つ。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。

人情噺(にんげんばなし)は、日本の伝統的な文芸形式の一つ。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。

人情噺(にんげんばなし)は、日本の伝統的な文芸形式の一つ。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。

人情噺(にんげんばなし)は、日本の伝統的な文芸形式の一つ。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。

人情噺(にんげんばなし)は、日本の伝統的な文芸形式の一つ。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。人情噺は、人情(にんげん)をテーマにした物語。